

河村式作文プリント

寄せられた困難事例へのアドバイス紹介

①「比較表現やセリフを入れる場所が分からない」

Q：日記プログラムの進行中、「くらべて」や鍵括弧で書く人が話したこと等をどこに入ればよいか分からないようで、これらの要素を書かずに終わることが続いています。どう指導すればよいのでしょうか？

A：日記プログラムにおいて、作文用紙左側に入っている、その時使うべき単語類が上手く使えない場合、「何をした・どう思った」の後に入れる習慣をつけると良いでしょう。

②「観察文の絵がマンガ絵になる」

Q：観察文プログラムの進行中ですが、何の植物を見てもいわゆる「マンガ絵」で、葉の形は毎回同じ、という感じです。細部まで描かせたいのですが、どうすればよいのでしょうか？

A：本書は文章がメインなので、マンガ絵でもよさそうなものですが、細部を見て絵を描く、というのは、それはそれで目指したいところでもあるので解説です。

観察文プログラムを進行できるレベルなのであれば、行動に対してある程度言語の影響が生じる事でしょう。

まずは絵を描く前に細部の観察をして興味を引いてみましょう。例えば以下のように問うてみてはどうでしょうか？

- ・葉脈を見せて「まるで血が流れる血管みたいだね。何本ぐらいありそう？」
- ・葉の中で色が違うところに対し「緑だけじゃないんだね。ここは茶色、ここは黄緑」「色が混ざってるときは色鉛筆の色もいくつか使ってみよう」
- ・茎のグラデーションに着目させて「茎は紫から始まって、上の方が黄緑だね」

こんな感じで細部に触れつつ描かせてみましょう。